

◇北海道留辺蘂高等学校◇

1 留辺蘂高校の概要

本校は、北見市留辺蘂自治区にある唯一の高校である。元々は留辺蘂町であったが、平成18年に北見市・端野町・常呂町と合併した。留辺蘂自治区のみの人口は2019年統計では5997人。農業や林業が中心の地域であり、特に白花豆の生産は、全国生産の約60%を占めている。

1948年（昭和23年）に北海道北見高等学校留辺蘂分校として創立し、昭和27年より北海道留辺蘂高等学校になった。平成12年に普通科から総合学科に転換し、現在は、国際系列と福祉系列の2系列がある。1年次14名、2年次17名、3年次19名の計50名の生徒が在籍している。

平成25年よりユネスコスクールに加盟し、ESDに基づいた教育活動を展開している。その取り組みが認められ、平成27年には第6回ESD大賞「高等学校賞」を受賞、平成30年度北海道教育実践表彰も受賞している。



2 今年度のPTA活動

- 4月…PTA通学路清掃、PTA役員会、PTA総会
- 5月…PTA役員会、総務・広報各委員会
- 6月…総務委員会、マラソン大会協力
- 7月…学校祭協力
- 8月…広報委員会
- 9月…PTAだより発行
- 2月…広報委員会
- 3月…PTAだより発行、PTA役員会



★PTA通学路清掃 入学式・始業式前の日曜日に、PTAと教職員有志により、通学路（JR西留辺蘂駅～高校、留辺蘂駅～高校）の清掃活動を行っている。



★マラソン大会協力 毎年マラソン大会ではPTA会員の協力により関門係やゴール後の軽食としてうどんの提供を行っている。特にうどんは生徒から大変好評であり、マラソンを頑張る大きな動機付けとなっている。



★学校祭協力 1日目には「PTA食堂」として、生徒に昼食の提供を行っている。また、2日目の一般公開日には各クラスで行う出店と共に「PTA出店」を出店している。